

HIGASHIOSAKA

東大阪市第3次総合計画 Higashiosaka City Master Plan 2021 ▶▶▶ 2030

概要版

つくる・つながる・ひびきあう

― 感動創造都市 東大阪 ―



将来都市像

つくる・つながる・ひびきあう — 感動創造都市 東大阪 —

必要なものは何でもつくりだすモノづくりの精神と、ラグビーの持つ団結力やさすがしさをまちづくりの理念として継承しながら、東大阪市に携わるすべての人の力で「感動創造都市 東大阪」の実現をめざします。



重点施策

人口減少社会への対応を踏まえ、今後10年間で特に重点的に取り組むべき施策

重点施策

1

若者・子育て世代に
選ばれるまちづくり



重点施策

2

高齢者が
活躍するまちづくり



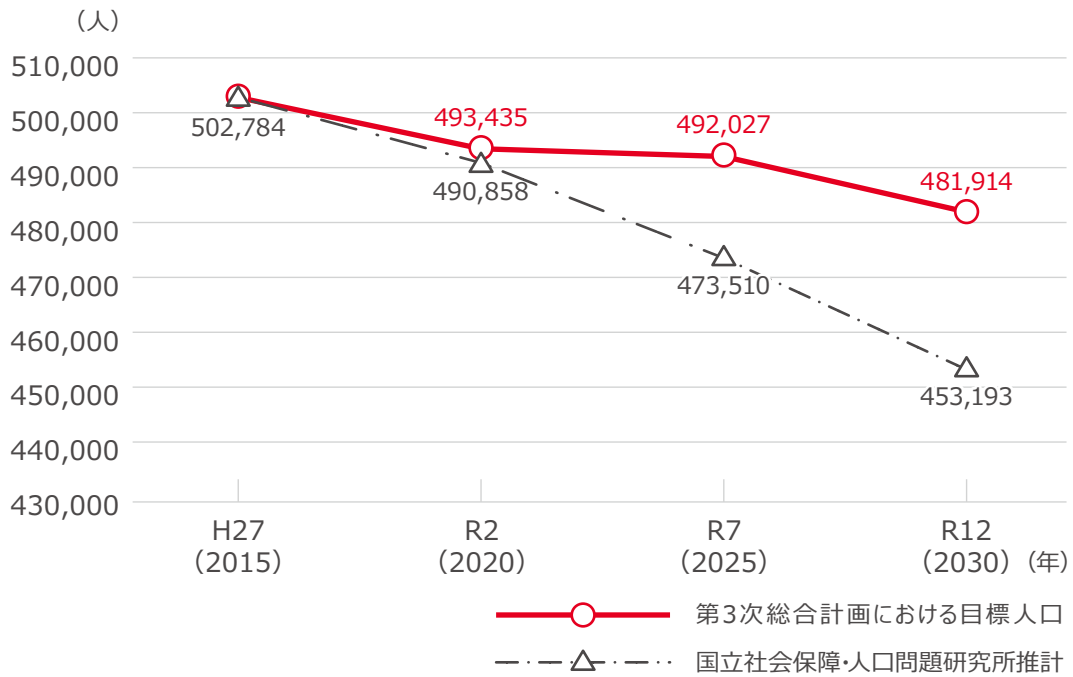
重点施策

3

人が集まり、
活気あふれるまちづくり



将来人口



資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」

東大阪市の人口は減少傾向にあります。若者・子育て世代の定住促進や出生率の向上に向けた取り組みを推進するとともに、選ばれるまちとなる施策を積極的に展開することにより、令和12（2030）年に約48万人の人口をめざします。



1

若者・子育て世代に選ばれるまちづくり

将来にわたってまちの活力を維持するため、若者・子育て世代から「大阪に住むなら東大阪市」と選んでもらえるまちをめざします。



花園中央公園

子育て世代が安心して子どもを産み、
育てられる環境が整っている

子育て支援の充実

- 妊娠・出産・子育て期における切れ目のない支援
- きめ細かな相談支援体制の充実
- 子育て情報の発信

子育て環境の充実

- 安心して子どもたちが生活できる環境づくり、安心できる子どもの居場所づくりを推進
- 子どもと一緒に気軽に快適に外出できる、子育て世帯にやさしいまちの形成



旭町子育て支援センター





瓢箪山稲荷神社

**若者がまちに愛着を持って暮らし、
個性や能力を発揮して活躍している**

魅力あふれるまちづくりの推進

- それぞれのライフステージに合わせた、よりよい住環境の形成
- 多様な働き方に対する支援と情報発信
- 住み続けたいまちとしての愛着の醸成に向けた、まちの魅力向上
- 住みたいまちとして選ばれ、東大阪市ファンを増やすためのシティプロモーションの積極的な推進



秋郷祭（枚岡神社）



授業風景

**子どもたちが豊かに学び、育ち、
自分らしく成長できる環境が整っている**

学校教育の充実

- 「知・徳・体」を兼ね備えた教育の充実
- 学問、スポーツ、芸術などあらゆる分野での一流の専門家から指導を受ける機会の提供
- それぞれの分野で将来活躍できる人材を育てるための個性を伸ばす教育の実施



スポーツ体験イベント

高齢者が活躍するまちづくり

高齢化が進むなか、高齢者が地域社会を支える担い手として
元気に活躍するまちをめざします。



ラグビースイカ収穫風景

高齢者がさまざまな場面で自分らしく活躍し、
地域社会を支えている

高齢者の就労支援の充実

- 高齢者の働く場の開拓や、働きたい高齢者と企業のマッチングを支援

地域活動の担い手の育成

- 地域のニーズを踏まえた活躍の場の提供
- 地域活動に触れられる機会の提供や、ボランティア等に取り組みややすい環境づくりの推進

多世代交流による生きがいの促進

- 育児・保育経験を生かした子ども・子育て支援の場での活動の促進
- 地域の子どもや保護者と高齢者との多世代交流の促進による、高齢者の生きがいの促進



TOPIC 東大阪市の特徴

交通利便性が高いまち



鉄道網（6路線26駅）、道路網が発達。大阪モノレールが門真市駅から（仮称）瓜生堂駅まで令和11（2029）年に南伸予定。

ラグビーのまち

東大阪市花園ラグビー場は日本初のラグビー専用グラウンド。全国高等学校ラグビーフットボール大会が毎年開催される、ラグビーの聖地。



モノづくりのまち

モノづくり企業の集積地であり、製造業の事業所密度は全国第1位。個々の企業のオンリーワンの技術は、雇用と豊かさを生み出す原動力となる。



大学のまち

4つの大学があり、約3万人もの学生が通学。各大学とはまちづくりや学術、教育、文化、産業の振興、人材育成などにおいて協力している。



文化のまち

多くの著名人・文化人を輩出（司馬遼太郎氏、田辺聖子氏、宮本順三氏、山中伸弥氏、井山裕太氏など）。地域資源を活用し、さまざまな文化活動が行われている。



人が集まり、活気あふれるまちづくり

人口減少下においても、市内外から人が多く集まり、活気あふれるまちをめざします。



花園ラグビー場

市内外から多くの人が集まりにぎわう、東大阪市の顔となる拠点が形成されている

市の中心拠点の形成

- 長田・荒本駅周辺における、良好な景観形成、商業・業務機能の強化、来訪者受け入れ環境や居住機能の充実

にぎわいゾーン的环境整備

- 布施から（仮称）瓜生堂駅周辺までの近鉄奈良線一帯における、既存の集積機能（行政施設、文化施設、商業・業務施設など）の活用・更新

花園中央公園の活用

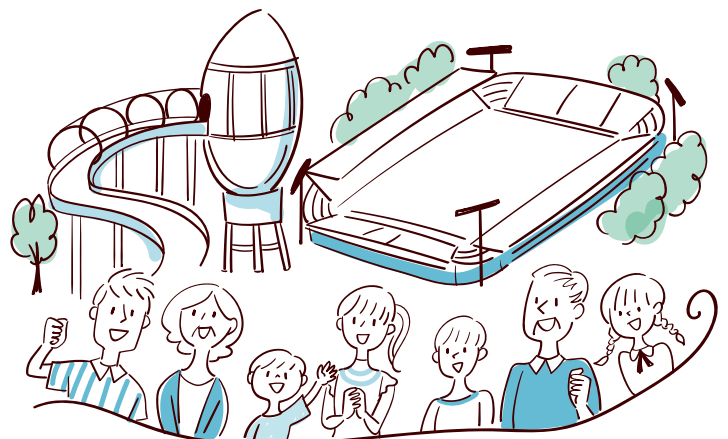
- 官民連携やさまざまなイベント開催による、花園中央公園の魅力強化と市のランドマークとしての活性化



東大阪市役所



荒本駅周辺





モノづくり試作工房「SEED」



紙すき体験

多くの企業が集積し、 活発な経済活動が行われている

産学官連携の強化

- モノづくりのまち、大学のまちとしての特徴を生かした産学官の連携強化による、新たなビジネスが多く誕生する風土づくり

起業しやすい環境の整備

- 起業を促す制度設計やオフィス設置に関する支援などによる、新たなビジネスを志す若者から起業の場として選ばれるまちづくり



市内モノづくり企業

通勤、通学をはじめ、スポーツや 文化芸術活動、観光目的などで 多くの人が東大阪市を訪れている

市内外から人を引きつけるコンテンツの充実

- 文化や芸術、ラグビーをはじめとするスポーツなど、市の強みを生かした魅力的な体験やイベントに参加できる機会の充実

快適に滞在できる環境づくり

- 宿泊施設や飲食、買い物など、市への来訪者が快適に滞在できる環境整備の促進

快適な移動環境づくり

- 鉄道網や道路網が発達している強みを生かした、市への来訪者が快適に移動できる環境整備



東大阪ジャンクション

分

野別施策

分野別の施策にSDGsのゴールを関連付けることで、一体的に推進していきます。

分野 1

人権・共生・協働

- ◆ すべての人の基本的な人権が守られる地域社会の形成
- ◆ 加速するグローバル社会への対応
- ◆ 公民連携によるまちづくりの推進



分野 2

子ども・子育て

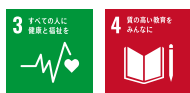
- ◆ 子育て支援の充実



分野 3

教育

- ◆ 確かな学力の向上
- ◆ 責任ある教育を提供できる教育環境の向上



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略であり、平成27(2015)年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された国際社会の共通目標です。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けて、令和12(2030)年を年限とする17のゴールと169のターゲットから構成されます。

分野 **7**
防災・治安

- ◆ 危機や災害に強く安心して暮らせるまちづくりの推進
- ◆ 治安対策の強化による安全・安心なまちの実現



分野 **6**
都市・環境

- ◆ 快適で魅力あふれる都市空間の創出
- ◆ 誰もが利用しやすい交通環境づくり
- ◆ 良好な環境の維持



分野 **5**
健康・福祉

- ◆ 健康づくりと保健衛生の推進
- ◆ 高齢者の活躍と地域における支えあいの推進
- ◆ 障害者の自立と社会参加の促進



分野 **4**
スポーツ・文化・産業

- ◆ スポーツでかがやき、ひろがり、つながるまちづくりの推進
- ◆ 誰もが歴史や文化に親しめるまちづくりの推進
- ◆ 産業の活性化による好循環の創出
- ◆ 多様な働き方と働く場の創出



■ 編集・発行 ■

令和2(2020)年7月
東大阪市 企画財政部 企画室 企画課
〒577-8521
東大阪市荒本北一丁目1番1号
TEL : 06-4309-3000(代表)
<http://www.city.higashiosaka.lg.jp/>

総合計画本編は
市ウェブサイト
をチェック!



東大阪市マスコットキャラクター
トライくん

